

2025 年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：2025 年 5 月 16 日（金） 14 時 00 分～14 時 50 分

場所：仙台市戦災復興記念館 4 階研修室

仙台市青葉区大町 2 丁目 12 番 1 号

年 次 大 会 次 第

I. 年次大会議事 14 時～14 時 50 分

(1) 開会宣言

(2) 報告

①2024 年度活動報告

②2024 年度会計報告

③監査報告

④2025～2026 年度役員人事

⑤2025 年度活動計画（案）

⑥2025 年度会計予算（案）

⑦その他

(3) 閉会宣言

II. 特別講演 15 時～17 時 CPD 2h

演 題：火山のマグマ供給系の話：物質科学的アプローチ

講 師：山形大学 理学部地球科学 伴 雅雄 教授

参加費：無料

III. 意見交換会 17 時 15 分～19 時 45 分

場所：全席個室居酒屋 はれた 仙台北一番町

仙台市青葉区一番町 3-11-7 BELLA ビル 2 5F (050-5287-7355)

会費： 6,000 円

1. 2024 年度活動報告

①2024 年度応用理学部会年次大会および特別講演

年次大会 参加者：15 名

日 時：2024 年 5 月 24 日(金) 14 時～14 時 50 分

会 場：仙台市戦災復興記念館 4 階研修室（定員 64 名）

特別講演：15 時～17 時 参加者 22 名

講 師：中安祐太 氏（東北大学 学際フロンティア研究所、助教）

演 題：薪炭林の活用による地産地消の実践、蓄電池材料の開発

意見交換会：全席個室居酒屋 はれた 仙台一番町

会 費：6,000 円

参加者：19 名（講師含む）

②2024 年度研修会

講 師：片山亜優 氏（宮城大学 食産業学群 准教授(博士 農学)）

演 題：植物飼料による水産物の養殖法開発

日 時：2024 年 7 月 12 日（金）15:00～17:00

会 場：日立システムズホール仙台 研修室 2（定員 63 名）

参加者：13 名（講師含む）

意見交換会：CAFÉ&ARTS けやきのもり（日立システムズホール仙台内）

会費：4,500 円 参加者：9 名

③2024 年度第 1 回防災講演会

※主催：認定 NPO 法人 防災・減災サポートセンター

後援：応用理学部会

日 時：令和 6 年 7 月 27 日（土）14:00～16:00

会 場：仙台市戦災復興記念館 4 階研修室（定員 64 名）

参加費：1,000 円（高校生以下無料）

参加者：20 名（講師 2 名含む）

第 1 部

講 師：守屋資郎 氏（認定 NPO 法人防災・減災サポートセンター）

演 題：2019 年丸森町の災害の概要

第 2 部

講 師：八巻眞由 氏（一般社団法人 YOMOYAMA COMPANY、丸森町）

演 題：災害ボランティアと地域コミュニティ

④2024 年度現地見学会 参加者 10 名

テーマ：南三陸町東日本大震災伝承館 南三陸 311 メモリアル
(ラーニングプログラム受講)

陸上養殖施設の見学 (株式会社ケーエスフーズ)

南三陸町自然環境活用センター (ネイチャーセンター)

日 時：2024 年 9 月 27 日 (金)

場 所：宮城県本吉郡南三陸町

案内者：片山亜優 氏 (宮城大学 食産業学群 准教授 (博士 農学))

参加費：5,000 円 (南三陸 311 メモリアル入館料、昼食代、交通費等)

⑤2024 年度第 2 回防災講演会

※共催：認定 N P O 法人 防災・減災サポートセンター
：応用理学部会

日 時：2024 年 11 月 2 日 (土) 14:00～16:00

会 場：仙台市戦災復興記念館 4 階研修室 (定員 64 名)

参加費：2,000 円 (高校生以下無料)

参加者：17 名 (講師 2 名含む)

第 1 部

講 師：正木光一 氏 (認定 N P O 法人防災・減災サポートセンター)

演 題：能登半島地震による道路沿いにみられた斜面崩壊などの概要

第 2 部

講 師：布原啓史 氏 (布原地質調査事務所、博士 (環境科学))

演 題：奥能登災害ボランティア体験報告

第 3 部 ディスカッション

⑥役員会

第 1 回：2024 年 4 月 19 日 (日立システムズホール仙台 研修室 1)

第 2 回：2024 年 5 月 24 日 (仙台市戦災復興記念館 研修室)

第 3 回：2024 年 6 月 14 日 (日立システムズホール仙台 研修室 2)

第 4 回：2024 年 7 月 12 日 (日立システムズホール仙台 研修室 2)

第 5 回：2024 年 8 月 23 日 (日立システムズホール仙台 研修室 1)

第 6 回：2024 年 10 月 18 日 (仙台市戦災復興記念館 第 4 会議室)

第 7 回：2024 年 12 月 6 日 (日立システムズホール仙台 研修室 2)

第 8 回：2025 年 2 月 7 日 (日立システムズホール仙台 会議室 1)

(計 8 回、太字は特別講演・技術サロン・研修会開催日)

⑦技術サロン

○第1回 2024年6月14日(金) 18:00~20:30 参加者: 13名

話題提供者: 関口絢子氏(株式会社東北開発コンサルタント)

演題: 「水力発電ダム近傍における凝灰岩類の岩盤崩壊」

話題提供者: 菊地真氏(応用地質株式会社)

演題: 「6th World Landslide Forum, Italy」の報告

意見交換会: 話題提供者2名+参加者11名(会費2,000円)

○第2回 2024年8月23日(金) 18:00~20:30 参加者: 11名

話題提供者: 大草芳江氏(特定非営利法人 natural science 理事、
(有)FIELD AND NETWORK 取締役、仙台市議会議員)

演題: 知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造に向けて
～「科学・技術の地産地消」の実現～

意見交換会: 話題提供者1名+参加者10名(会費2,000円)

○第3回 2024年10月18日(金) 18:00~20:30 参加者: 6名

話題提供者: 布原啓史氏(博士(環境科学)、布原地質調査事務所)

テーマ: 東北日本 三途川カルデラの地熱地質と資源量評価

演題: 「TL強度から熱源位置をインバージョン解析する方法」

話題提供者: 二木茂樹氏(株式会社復建技術コンサルタント)

演題: 「地歴不明の空洞確認へのアプローチ」

意見交換会: 話題提供者2名+参加者4名(会費2,000円)

○第4回 2024年12月6日(金) 18:00~20:00 参加者: 14名

話題提供者: 鈴木達也氏(仙台管区気象台 気象防災情報調整官)

演題: 「防災気象情報の利活用」

話題提供者: 東北学院大学工学部環境建設学科 三戸部研究室

演題: 「トレイルカメラ映像を用いた高頻度河口地形変化の解析」
(学部4年 加藤翔太氏)

演題: 「避難行動に着目した津波防災ゲームの開発」
(学部4年 小松翼氏、佐々木昶斗氏)

演題: 「数値シミュレーションを用いた洪水対策ゲームの開発」
(学部4年 志田晃一氏)

技術サロン参加費 1,000円

意見交換会: 話題提供者2名+参加者9名(会費5,000円)

2. 2024 年度会計報告

応用理学部会 2024年度 会計決算(案)

	決 算	2024年度予算	対 比
総収入	615,829	771,375	△ 155,546
総支出	478,927	600,000	△ 121,073
繰越金	136,902	171,375	△ 34,473

【収入の部】

科 目		決 算	2024年度予算	対 比	摘 要
前度繰越金		171,375	171,375	0	
本部交付金		100,000	100,000	0	
寄附金		272	0	272	有志新年会残金
	小 計	271,647	271,375	272	
事業収入	年 次 大 会	108,000	120,000	△ 12,000	意見交換会参加費18名
	見 学 会	50,000	90,000	△ 40,000	参加費(10名×5,000)
	技 術 サ ロ ン	104,000	120,000	△ 16,000	意見交換会25名、忘年会9名
	研 修 会	72,500	155,000	△ 82,500	参加費、意見交換会参加費
	地震防災WG活動	0	0	0	
雑収入	その他収入	9,682	15,000	△ 5,318	室料返金、利息
	小 計	344,182	500,000	△ 155,818	
総収入		615,829	771,375	△ 155,546	

【支出の部】

【支出部】		決 算	2024年度予算	対 比	摘 要
科 目					
事業費	年次大会	152,748	160,000	△ 7,252	案内送付、意見交換会
	見学会	94,385	95,000	△ 615	案内謝礼金、拝観料、交通費等
	技術サロン	99,386	110,000	△ 10,614	会場費、意見交換会
	研修会	113,120	160,000	△ 46,880	会場費、謝礼金、意見交換会等
	地震防災WG活動	0	0	0	
	小 計	459,639	525,000	△ 65,361	
管理費	会 議 費	12,450	10,000	2,450	2月・4月役員会会場費ほか
	通 信 費	6,618	15,000	△ 8,382	サーバー料、ドメイン料
	事 務 雑 費	220	10,000	△ 9,780	封筒
	予 備 費	0	10,000	△ 10,000	
	そ の 他	0	30,000	△ 30,000	
	小 計	19,288	75,000	△ 55,712	
総支出		478,927	600,000	△ 121,073	

決算、予算、対比
 決算-2024年度予算
 マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

2024 年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

2025 年 4 月 9 日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 新沼正彦 

4. 2025-2026 年度 応用理学部会役員名簿

役職	氏名	所属	備考
部会長	尾崎裕司	日本工営(株)	
副部会長	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	
副部会長	菊地 真	応用地質(株)	広報(副)兼
代表幹事※ ¹	森 信博	東北ボーリング(株)	総務
幹事	伊藤靖雄	大日本ダイヤコンサルタント(株)	広報 (主)
幹事	川口通世	(株)川口技術士事務所	福島
幹事	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	岩手
幹事	今野隆彦	今野技術士事務所	
幹事	桜田裕之	(株)自然科学調査事務所	秋田
幹事	二木茂樹	(株)復建技術コンサルタント	
監事※ ¹	新沼正彦	(株)測地コンサルシステム	幹事兼任(総務)

※1 技術士会東北本部内では幹事表記となる。

5 . 2025 年度 活動計画 (案)

① 2025 年度 年次大会および特別講演

日 時：令和 7 年 5 月 16 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場 所：仙台市戦災復興記念館 4 階研修室
仙台市青葉区大町 2 丁目 12 番 1 号

○年次大会 14 時～14 時 50 分

○特別講演 15 時～17 時

演 題：火山のマグマ供給系の話：物質科学的アプローチ

講 師：山形大学理学部・地球科学 伴 雅雄 教授

○意見交換会 会費 6,000 円、全席個室居酒屋 はれた 仙台一番町

仙台市青葉区一番町 3-11-7 BELLA ビル 2 5F(050-5287-7355)

② 2025 年度研修会

テーマ：蔵王ジオパーク関連

日 時：令和 7 年 7 月 25 日(金) 15:00～17:00

場 所：日立システムズホール仙台 2F 研修室 2

講 師：北川 桐香氏(蔵王町環境政策課ジオパーク専門員)

参加費：2,000 円。

意見交換会 17:10～19:10

CAFÉ&ARTS けやきのもり(日立システムズホール内)(予定)

仙台市青葉区旭ヶ丘 3 丁目 27-5

③ 2025 年度現地見学会

令和 7 年 9 月中旬から下旬の金曜日

テーマ：蔵王火山あるいは蔵王ジオパーク

案内者：伴 雅雄教授 または 蔵王ジオパークガイド

場 所：蔵王火山 蔵王ジオパーク

※伴教授に依頼済みだが、未確定。北川 桐香氏(蔵王町環境政策課
ジオパーク専門員)にも依頼の可能性あり。

④ 技術サロン

第 1 回：6/20 (金) 戦災復興記念館／4 階第 1 会議室 (定員 60 名)

話題提供者：菊地 真 氏 (応用地質株式会社)

黒墨 秀行 氏 (株式会社総合土木コンサルタンツ)

第2回：8/22（金）戦災復興記念館／4階第4会議室（定員 50 名）

話題提供者：未定

第3回：10/17（金）日立システムズホール仙台／研修室2（定員 63 名）

話題提供者：未定

第4回：12/5（金）日立システムズホール仙台／研修室2（定員 63 名）

話題提供者：未定

⑤ 役員会（太字は技術サロン開催予定日）

開催予定：4 月 18 日（金）、5 月 16 日（金）、**6 月 20 日（金）**、7 月 25 日
（金）、**8 月 22 日（金）**、**10 月 17 日（金）**、**12 月 5 日（金）**、令
和 8 年 2 月 13 日（金）

⑥ 地震防災 WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターの防災行事への協力

6. 2025 年度 会計予算（案）

応用理学部会 2025年度 会計予算(案)

	2025年度予算	2024年度決算	対比
総収入	686,902	615,829	71,073
総支出	560,000	478,927	81,073
繰越金	126,902	136,902	△ 10,000

【収入の部】

科目		2025年度予算	2024年度決算	対比	摘 要
前年度繰越金		136,902	171,375	△ 34,473	
本部交付金		100,000	100,000	0	
寄附金		0	0	0	
	小計	236,902	271,375	△ 34,473	
事業収入	年 次 大 会	120,000	108,000	12,000	意見交換会(20名)
	見 学 会	60,000	50,000	10,000	12名×参加費5,000
	技 術 サ ロ ン	120,000	104,000	16,000	4回開催、会費2,000円
	研 修 会	140,000	72,500	67,500	参加20名、意見交換会20名
	地震防災WG活動	0	0	0	
雑収入	雑 収 入	10,000	9,954	46	会場費返金ほか
	小計	450,000	344,454	105,546	
総収入		686,902	615,829	71,073	

【支出の部】

科目		2025年度予算	2024年度決算	対比	摘 要
事業費	年 次 大 会	160,000	152,748	7,252	意見交換会20名、謝礼
	見 学 会	80,000	94,385	△ 14,385	昼食、交通費、謝礼
	技 術 サ ロ ン	120,000	99,386	20,614	4回、会場費、会費1000円
	研 修 会	160,000	113,120	46,880	35名、意見交換会20名、謝礼
	地震防災WG活動	0	0	0	
	小計	520,000	459,639	60,361	
管理費	会 議 費	15,000	12,450	2,550	役員会会場費
	通 信 費	10,000	6,618	3,382	HP管理費、郵送料ほか
	事 務 雑 費	5,000	220	4,780	
	予 備 費	10,000	0	10,000	
	そ の 他		0	0	
	小計	40,000	19,288	20,712	
総支出		560,000	478,927	81,073	

対前年決算

2025年度予算-2024年度決算

マイナスは△で表示

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

平成 26 年 5 月 9 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員の任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員の選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。

4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第6条 役員の任務

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その任務を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし部会員をもって構成し、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を招集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を報告する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の承認に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。

2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。